

こんごういん ニュース
金剛院 NEWS

佛式による地鎮式が行なわれ、 いよいよ本格的な建築工事が始まります。



本堂と客殿の仮設工事も終わり、金剛院の建築計画である

「本堂・客殿・大師堂の耐震工事」と多目的ホール「蓮華堂」などの新築工事が、いよいよ始まります。

本工事にさきだって、去る4月12日、新築予定地に建築委員会と建築関係者が一堂に会し、佛式による「地鎮式」が厳かに執り行われました。



地鎮式は、建築場所を清め、土地の神さまや諸仏をお迎えし

て、金銀の財宝、山海の供物、金剛院に古くから伝わる伽羅(きゃら)香木を「名香(めいこう)」として献上して鎮め、工事の安全を祈念する儀式です。

鍬を入れ、清められた四方に建築委員の方々が、さまざまな「鎮供」をされ、神仏に祈りました。



土地の神を鎮め、工事の安全を祈念して行なわれた地鎮式



関係者による「鍬入儀(刈穂)」(左)、五穀を供する「四掘地鎮供」(右)



金剛院に古くから伝わる「名香」も供されました

「蓮華(れんげ)堂」完成予想図



一同揃っての記念撮影

★昨年からの建築の準備を進めていましたが、本日「地鎮式」というケジメの時を迎えることができました。お力添えを頂いた檀信徒や工事関係の方々に感謝申しあげたいと思います。いよいよ1年間にわたり建築が本格的にスタートします。来春の完成まで、工事の経過を随時お伝えしていく予定です。(住職記)

